

証券コード 9273
(発送日) 2024年9月6日
(電子提供措置の開始日) 2024年8月30日

株 主 各 位

神奈川県横浜市港北区日吉七丁目13番15号
コア商事ホールディングス株式会社
代表取締役社長 首 藤 利 幸

第10回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第10回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

<https://www.koashoji-hd.com/ir/meeting.html>



【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



（上記の東証ウェブサイトへアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「コア商事ホールディングス」又は「コード」に当社証券コード「9273」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。）

なお、当日ご出席されない場合は、インターネット等又は書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、後述のご案内に従って、2024年9月26日（木曜日）午後5時30分までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2024年9月27日（金曜日）午前10時
2. 場 所 神奈川県横浜市中区山下町10番地
ホテルニューグランド
本館2階「レインボーボールルーム」
（末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。）
3. 目的事項
報告事項
1. 第10期（2023年7月1日から2024年6月30日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員
会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第10期（2023年7月1日から2024年6月30日まで）
計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件
第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件
第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

4. 招集にあたっての決定事項

- (1) 書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。
- (2) インターネット等により複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われた議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。
- (3) インターネット等と書面（郵送）により重複して議決権を行使された場合は、到着日時を問わず、インターネット等による議決権行使を有効なものとしてお取り扱いいたします。

以上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますよう、お願い申し上げます。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前頁に記載の各ウェブサイトにおいて、その旨、修正前及び修正後の事項を掲載させていただきます。

◎電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載しておりません。なお、監査等委員会及び会計監査人は次の事項を含む監査対象書類を監査しております。

①事業報告の「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況の概要」

②連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」「連結注記表」

③計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」

◎新型コロナウイルス感染症について、本株主総会当日までの感染状況の変化や政府方針等の変更により、必要な感染防止対策を講じて開催する場合がございます。

◎当社は株主総会において、ご来場いただくことができない株主様との公平性を勘案し、お土産の配布を行っておりません。

## 議決権行使についてのご案内

議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。

### インターネット等で議決権を行使される場合

---



パソコン又はスマートフォンから議決権行使サイト (<https://evote.tr.mufg.jp/>) にアクセスし、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご入力いただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。行使方法につきましては、次頁をご参照ください。

**行使期限** 2024年9月26日(木曜日) 午後5時30分入力完了分まで

### 書面(郵送)で議決権を行使される場合

---



議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

**行使期限** 2024年9月26日(木曜日) 午後5時30分到着分まで

### 株主総会にご出席される場合

---



議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

**日時** 2024年9月27日(金曜日) 午前10時  
(受付開始：午前9時30分)

- ※ 書面(郵送)とインターネット等により重複して議決権を行使された場合は、インターネット等による議決権行使の内容を有効として取り扱わせていただきます。
- ※ インターネット等により複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

# インターネット等による議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法

議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

## ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。

- 2 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。

「ログインID・  
仮パスワード」  
を入力

「ログイン」  
をクリック

- 3 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

※午前2時30分から午前4時30分までは、議決権行使サイトの保守・点検のため接続いただくことができません。  
※議決権行使サイトへのアクセスに際して発生するインターネット接続料、通信費等は株主様のご負担となります。

インターネットによる議決権行使で  
パソコンやスマートフォンの操作方法などが  
ご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク  
0120-173-027  
(通話料無料/受付時間 午前9時～午後9時)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

# 事業報告

( 2023年 7月 1日から )  
( 2024年 6月30日まで )

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当事業年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国経済は、経済活動の正常化が進み企業収益や雇用情勢が改善する中で、緩やかに回復しています。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、燃料・資源価格の高騰、欧米諸国の金融引き締め政策による円安の進行等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、円安の影響は原料等の仕入価格が変動するリスクがありますが、原薬販売事業では、必要に応じ為替予約を行うことや、海外サプライヤーへの価格交渉、得意先への為替連動型の価格設定への切替等を進めており、医薬品製造販売事業では、コスト削減や販売価格の見直しに加えて、量産体制を推進し生産量を増大させること等による生産効率の向上を図っております。

医薬品業界におきましては、医療費の適正化に向けて、ジェネリック医薬品の使用促進を進めるため、2024年3月14日に開催された社会保障審議会・医療保険部会において、主目標である「数量シェアを2029年度末までに全ての都道府県で80%以上（継続）」に加えて、副次目標として「2029年度末までに、『バイオシミラーが80%以上を占める成分数』が全体の成分数の60%以上」と「後発医薬品の金額シェアを2023年度56.7%から2029年度末までに65%以上」が新しい目標として設定されました。また、2024年10月1日よりジェネリック医薬品が販売されている先発医薬品である長期収載品に対して選定療養の仕組みが導入され、対象となる医薬品においてはジェネリック医薬品との差額の4分の1は患者負担が増えることになるため、ジェネリック医薬品の使用が促進されることが想定されます。これらのジェネリック医薬品促進策により、さらなる市場の拡大が見込まれるものの、安定供給が大前提とされております。厚生労働省は、品質が確保されたジェネリック医薬品を安定供給できる企業が評価され、結果的に優位になることを目指して「後発品の安定供給に関連する情報の公表等に関するガイドライン」を策定し、情報公開を求めています。

当社グループでは、製造管理や品質管理の強化のために、グループ各社間における無通告監査(抜き打ちの立入り監査)や、実地調査に赴くことがかなわない海外製造所等にリモート監査の実施、グループ各社で製造販売承認書と製造実態の齟齬にかかる一斉点検の実施等を継続しております。情報公開については医薬品製造販売事業に属するコーアイセイ株式会社とコアバイオテックベイ株式会社の各社ウェブサイトにて安定供給に関連する情報を公表しております。

製造機能の強化については、今後さらなる需要拡大に対応し、安定供給責任を果たすために蔵王工場の敷地内に第二工場を新設することを決定しております。第二工場は、1~2mlプレフィルドシリンジ1,200万本/年の量産(大量生産)型高薬理無菌製剤工場となります。本建設により、上記の増産対応と合わせて、検討を進めている新規受託案件を獲得することで、医薬品製造販売事業のさらなる事業拡大を目指してまいります。

このような状況の下、当連結会計年度の業績は、売上高22,134百万円(前期比0.4%増)、営業利益4,382百万円(前期比3.1%増)、経常利益4,368百万円(前期比6.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,946百万円(前期比9.6%増)となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

#### 原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、「その他の代謝性医薬品」用原薬や「中枢神経系用薬」用原薬の新規採用品目の数量が増加した一方で、「循環器官用薬」用原薬での競合原薬の採用や、「腫瘍用薬」用原薬での得意先の在庫方針の変更等による在庫調整、「抗生物質製剤」用原薬での行政処分等による得意先の販売数量の減少により、当連結会計年度の売上高は15,455百万円(前期比3.4%減)となりました。セグメント利益は利益率の高い原薬の取引が増加し、2,769百万円(前期比1.5%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高1,721百万円が含まれており、当該内部売上を控除した外部顧客への売上高は13,734百万円となっております。

## 医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、当第4四半期連結会計期間において一部生産計画の調整が必要になったことや定期設備メンテナンスが長引いたこと等により、当初予定していた製品の出荷の遅延や追加コストが発生しました。

当連結会計年度では注射剤の主力製品が増産により販売数量が増加したことや、同業他社からの代替需要等により既存製品が好調に推移したことにより、当連結会計年度の売上高は8,399百万円（前期比6.5%増）となり、セグメント利益は円安や燃料価格高騰による原材料等のコスト増加があったものの、増産や収率向上による生産性の改善等で利益確保に努めたことにより、1,699百万円（前期比10.8%増）となりました。

## 事業別売上高

| 事業区分      | 第9期<br>(2023年6月期)<br>(前連結会計年度) |       | 第10期<br>(2024年6月期)<br>(当連結会計年度) |       | 前連結会計年度比 |       |
|-----------|--------------------------------|-------|---------------------------------|-------|----------|-------|
|           | 金額                             | 構成比   | 金額                              | 構成比   | 金額       | 増減率   |
| 原薬販売事業    | 14,163百万円                      | 64.2% | 13,734百万円                       | 62.0% | △429百万円  | △3.0% |
| 医薬品製造販売事業 | 7,889                          | 35.8  | 8,399                           | 38.0  | 510      | 6.5   |
| 合計        | 22,052                         | 100.0 | 22,134                          | 100.0 | 81       | 0.4   |

### ② 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施いたしました当社グループの設備投資の総額は1,348百万円で、その主なものは次のとおりであります。

原薬販売事業 コーア商事株式会社 大阪社屋改修工事

原薬販売事業 コーア商事株式会社 蔵王倉庫の新設

医薬品製造販売事業 コーアイセイ株式会社 蔵王倉庫の新設

### ③ 資金調達の状況

当連結会計年度において、連結子会社であるコーアイセイ株式会社の蔵王第二工場新設の設備投資資金として、公募増資及び第三者割当増資による新株発行により、1,632百万円の資金調達を行いました。

### ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

- ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況  
該当事項はありません。
  
- ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況  
該当事項はありません。
  
- ⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況  
該当事項はありません。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                      | 第 7 期<br>(2021年6月期) | 第 8 期<br>(2022年6月期) | 第 9 期<br>(2023年6月期) | 第 10 期<br>(当連結会計年度)<br>(2024年6月期) |
|--------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------------------|
| 売 上 高(百万円)               | 17,816              | 20,353              | 22,052              | 22,134                            |
| 経 常 利 益(百万円)             | 3,404               | 3,753               | 4,091               | 4,368                             |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益(百万円) | 2,136               | 2,359               | 2,687               | 2,946                             |
| 1株当たり当期純利益 (円)           | 53.94               | 59.55               | 67.83               | 74.14                             |
| 総 資 産(百万円)               | 24,804              | 26,249              | 28,464              | 32,004                            |
| 純 資 産(百万円)               | 16,703              | 18,665              | 20,923              | 25,051                            |
| 1株当たり純資産 (円)             | 421.61              | 471.14              | 528.12              | 594.79                            |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもってそれぞれ株式分割を行っております。第7期(2021年6月期)の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

## ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分            | 第 7 期<br>(2021年6月期) | 第 8 期<br>(2022年6月期) | 第 9 期<br>(2023年6月期) | 第 10 期<br>(当事業年度)<br>(2024年6月期) |
|----------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------------------|
| 営 業 収 益(百万円)   | 637                 | 703                 | 1,103               | 1,223                           |
| 経 常 利 益(百万円)   | 78                  | 89                  | 515                 | 630                             |
| 当 期 純 利 益(百万円) | 76                  | 95                  | 492                 | 617                             |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 1.93                | 2.41                | 12.44               | 15.55                           |
| 総 資 産(百万円)     | 12,138              | 11,946              | 11,411              | 13,221                          |
| 純 資 産(百万円)     | 10,557              | 10,256              | 10,313              | 12,089                          |
| 1株当たり純資産 (円)   | 266.48              | 258.89              | 260.32              | 287.02                          |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもってそれぞれ株式分割を行っております。第7期(2021年6月期)の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名           | 資 本 金 | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容   |
|-----------------|-------|----------|-----------|
| コーア商事株式会社       | 20百万円 | 100.0%   | 原薬販売事業    |
| コーアイセイ株式会社      | 480   | 100.0    | 医薬品製造販売事業 |
| コーアバイオテックベイ株式会社 | 10    | 100.0    | 医薬品製造販売事業 |

(注) 当事業年度の末日における特定完全子会社の状況は、次のとおりであります。

|                                 |                       |
|---------------------------------|-----------------------|
| 特定完全子会社の名称                      | コーア商事株式会社             |
| 特定完全子会社の住所                      | 神奈川県横浜市港北区日吉七丁目13番15号 |
| 当社及び当社の完全子会社における特定完全子会社の株式の帳簿価額 | 6,295百万円              |
| 当社の総資産額                         | 13,221百万円             |

#### (4) 対処すべき課題

「(1)当事業年度の事業の状況」、「①事業の経過及び成果」で記載のとおり、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しております。

このような事業環境下において、当社の「加速する“超高齢社会”で必要とされる医薬品企業であり続けるために」というビジョンのもと、2020年に策定した2030年に向けての10カ年長期事業計画の実現に向けて、次のとおり取り組んでまいります。

##### <2030年に向けての10カ年長期事業計画>

#### ① 成長戦略

##### イ. 原薬輸入商社から、医薬品専門商社へ

当社の原薬販売事業を担うコア商事株式会社においては、ジェネリック医薬品原薬の専門商社として世界10か国90社以上の海外サプライヤー、国内製薬会社100社以上と取引を行ってきました。このネットワークとグループシナジーを駆使し、医薬品原薬のみならず海外で生産された医薬品の輸入販売の事業化や海外の知的財産を国内製薬会社が導入するための橋渡しをするライセンスイン活動を推進し、医薬品専門商社になることを目指してまいります。

また既存事業である原薬販売においては、ジェネリック医薬品のみならず、長期収載品（注1）やオーソライズド・ジェネリック（注2）にも範囲を広げるなど、持続的な成長に向けた取組みを行ってまいります。

（注1）既に特許が切れ、同じ効能・効果を持つジェネリック医薬品が発売されている新薬（先発医薬品）

（注2）先発医薬品メーカーから許諾を得て製造される原薬、添加物及び製法等が新薬と同一のジェネリック医薬品

##### ロ. 注射剤を主としたジェネリック医薬品メーカーから、

##### 特長のある注射剤国内トップメーカーへ

当社の医薬品製造販売事業を主に担うコアイセイ株式会社において、蔵王工場のバイアル（注3）ラインの稼働率を引き上げるため、新規品目の追加を行うとともに、医薬品倉庫や注射剤製造設備への投資を進め、生産能力強化や安定供給体制を推進し、特長のある注射剤国内トップメーカーを目指してまいります。

(注3) 注射剤3剤形のうちのひとつ。薬剤を入れた後ゴム栓をしたもの。注射器でゴム栓から薬液を取れる

② 財務目標

| 項目     | 2030年6月期目標 | 2024年6月期実績 |
|--------|------------|------------|
| 連結売上高  | 400億円      | 221億円      |
| 連結営業利益 | 80億円       | 43億円       |

<中期事業戦略>

(原薬販売事業)

原薬販売事業の中期事業戦略は、以下のとおり掲げております。

- ・新規収載品や長期収載品、既存品のシェア拡大等をターゲットとした新規採用活動促進
- ・海外サプライヤーとの関係性強化
- ・「医薬品専門商社」「モダリティ革命」に向けた対応
- ・製販のベストパートナーとしての医薬分析センター及び品質保証機能の活用
- ・グループ間のシナジー効果の具体的施策の実施

高い利益率の確保のため、営業支援体制と新規に薬価収載される銘柄のプロモート強化による新規採用の獲得に注力しております。

(医薬品製造販売事業)

医薬品製造販売事業の中期事業戦略は、以下のとおり掲げております。

『回収とのバランスに注視した設備投資を推進』

ESGに配慮し、開発から製造まで開発提案型の受託事業（CDMO（注4））による持続的成長

医薬品倉庫及び製造設備投資により安心・安全な医薬品の安定供給体制の構築、企業指標を踏まえた適正価格販売

- ・業務全般にわたるコンプライアンス意識の向上
- ・開発提案型の受託事業（CDMO）戦略推進
- ・蔵王工場受託事業の本格展開
- ・グループシナジーの強化による新規開発検討
- ・人への投資を積極的に行い人材の育成強化並びに登用により医薬品製造販売業を行う責任体質強化

- ・ 経営計画に基づく投資計画、修繕計画による安心・安全な医薬品の安定供給
- ・ 企業指標を踏まえた適正価格販売

医薬品の開発から製造まで開発提案型のCDMO体制を推進します。また蔵王工場の受託事業の本格展開のため、バイアル液剤と凍結乾燥製剤の新たな受託獲得、シリンジ（注5）製剤の増産を中期的に取り組んでまいります。

（注4） Contract Development and Manufacturing Organization  
医薬品開発製造受託機関

（注5） 注射剤3剤形のうちのひとつ。あらかじめ薬液が充填された状態の注射器

(5) 主要な事業内容 (2024年6月30日現在)

| 事業区分      | 事業内容                                                   |
|-----------|--------------------------------------------------------|
| 原薬販売事業    | ・ジェネリック医薬品原料の輸出入、並びにそれに付随する業務<br>・特徴のある医薬品原料及び製剤の導入と供給 |
| 医薬品製造販売事業 | ・ジェネリック注射剤、経口剤、外用剤の開発・製造・販売<br>並びに受託製造                 |

(6) 主要な営業所及び工場 (2024年6月30日現在)

① 当社

| 名称 | 所在地        |
|----|------------|
| 本社 | 神奈川県横浜市港北区 |

② 子会社

| 名称             | 所在地                                                               |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|
| コア商事株式会社       | 本社（神奈川県横浜市港北区）、医薬分析センター（神奈川県横浜市港北区）、大阪社屋（大阪府大阪市東淀川区）、蔵王倉庫（山形県山形市） |
| コアイセイ株式会社      | 本社（山形県山形市）、蔵王工場（山形県山形市）                                           |
| コアバイオテックベイ株式会社 | 本社（神奈川県横浜市港北区）、箕輪町ビル（神奈川県横浜市港北区）                                  |

(注) コア商事株式会社において、2024年2月に山形県山形市に蔵王倉庫を新設いたしました。

(7) 従業員の状況 (2024年6月30日現在)

① 企業集団の従業員の状況

| 事業区分      | 従業員数     | 前連結会計年度末比増減 |
|-----------|----------|-------------|
| 原薬販売事業    | 76 (9) 名 | － (1名減)     |
| 医薬品製造販売事業 | 194 (64) | 6名減 (21名増)  |
| 全社 (共通)   | 19 (4)   | 2名減 (1名増)   |
| 合計        | 289 (77) | 8名減 (21名増)  |

- (注) 1. 従業員数は就業人員 (当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。) であり、パート及び派遣社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。  
2. 全社 (共通) として記載されている従業員数は、当社の従業員数であります。

② 当社の従業員の状況

| 従業員数     | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|----------|-----------|-------|--------|
| 19 (4) 名 | 2名減 (1名増) | 49.3歳 | 4.8年   |

- (注) 従業員数は就業人員 (当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。) であり、パート及び派遣社員は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (2024年6月30日現在)

| 借入先         | 借入額    |
|-------------|--------|
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 500百万円 |
| 株式会社みずほ銀行   | 250    |
| 株式会社りそな銀行   | 100    |
| 株式会社きらやか銀行  | 1,965  |

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2024年6月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 144,000,000株
- ② 発行済株式の総数 42,119,980株
- ③ 株主数 24,385名
- ④ 大株主

| 株主名                      | 持株数      | 持株比率   |
|--------------------------|----------|--------|
| 株式会社 土師                  | 17,829千株 | 42.33% |
| 公益財団法人 首藤奨学財団            | 4,600    | 10.92  |
| 首藤 利幸                    | 2,136    | 5.07   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 1,332    | 3.16   |
| 堀江 淳子                    | 1,140    | 2.71   |
| 石綿 聡明                    | 937      | 2.23   |
| 小角 真理                    | 804      | 1.91   |
| 岡澤 明子                    | 619      | 1.47   |
| 大塚 里津子                   | 487      | 1.16   |
| 川口 謙                     | 461      | 1.10   |

(注) 持株比率は自己株式 (1,356株) を控除して計算しております。

### ⑤ その他株式に関する重要な事項

2024年6月11日を払込期日とする公募増資及び2024年6月26日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売り出しに関連して行う第三者割当増資による新株式発行により、発行済株式の総数は、2,500,000株増加しております。

### (2) 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

### (3) 会社役員の状況

#### ① 取締役の状況 (2024年6月30日現在)

| 会社における地位          | 氏 名   | 担当及び重要な兼職の状況                                                                                                          |
|-------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長           | 首藤利幸  | コア商事株式会社代表取締役会長<br>コアイセイ株式会社代表取締役会長<br>コアバイオテックベイ株式会社相談役<br>公益財団法人首藤奨学財団代表理事                                          |
| 専務取締役             | 小山登志憲 | 営業担当<br>コア商事株式会社取締役<br>コアイセイ株式会社取締役                                                                                   |
| 常務取締役             | 大塚里津子 | サステナビリティ担当<br>コア商事株式会社代表取締役社長<br>コアバイオテックベイ株式会社<br>代表取締役会長<br>コアイセイ株式会社取締役                                            |
| 取締役               | 廣野敏博  | 生産担当<br>コアイセイ株式会社代表取締役社長<br>コアバイオテックベイ株式会社取締役                                                                         |
| 取締役               | 小松美代子 | 財務経理担当<br>コアバイオテックベイ株式会社監査役                                                                                           |
| 取締役               | 田中輝幸  | 事業開発・経営企画担当<br>コア商事株式会社取締役副社長                                                                                         |
| 取締役<br>(監査等委員・常勤) | 定延紳朗  | —                                                                                                                     |
| 取締役<br>(監査等委員)    | 矢野千秋  | 弁護士<br>矢野山岸法律事務所代表<br>東京交通サービス株式会社社外取締役                                                                               |
| 取締役<br>(監査等委員)    | 平尾禎孝  | —                                                                                                                     |
| 取締役<br>(監査等委員)    | 木下洋   | 公認会計士<br>ティアンドエスグループ株式会社取締役<br>執行役員COO                                                                                |
| 取締役<br>(監査等委員)    | 林恭子   | 学校法人グロービス経営大学院教授<br>株式会社グロービスファカルティ本部<br>シニア・ファカルティディレクター<br>株式会社イートアンドホールディングス<br>社外取締役<br>萩原電気ホールディングス株式会社<br>社外取締役 |

- (注) 1. 取締役矢野千秋氏、取締役平尾禎孝氏、取締役木下洋氏及び取締役林恭子氏は、社外取締役であります。
2. 2023年9月28日開催の第9回定時株主総会終結の時をもって、取締役(監査等委員)高橋清氏は任期満了により退任いたしました。

3. 取締役（監査等委員）矢野千秋氏は、弁護士の資格を有しており、企業法務及び法律に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 取締役（監査等委員）木下洋氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
5. 情報収集の充実を図り、内部監査部門との十分な連携を通じて、監査の実効性を高め、監査・監督機能を強化するために定延紳朗氏を常勤の監査等委員として選定しております。
6. 当社は、社外取締役である矢野千秋氏、平尾禎孝氏、木下洋氏及び林恭子氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

② 役員等賠償責任保険契約の内容の概要等

当社は、保険会社との間で当社及びグループ各社の取締役・監査役・管理職を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結し、被保険者の業務に起因して、株主・会社・その他第三者から損害賠償請求がなされた場合の当該損害賠償金、訴訟費用等を当該保険契約により填補することとしております。当該保険契約の保険料については、当社が全額負担し、被保険者は保険料を負担しておりません。ただし、被保険者の職務執行の適正性が損なわれないようにするため、当該被保険者が法令違反の行為であると認識して行った行為に起因して生じた損害の場合には補填の対象とならないなど、一定の免責事由があります。

### ③ 取締役の報酬等

#### イ. 役員報酬等の内容の決定に関する方針等

当社は、2021年3月22日開催の取締役会において、取締役（監査等委員である取締役を除く。以下「取締役」という）の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。当該取締役会の決議に際しては、あらかじめ決議する内容について、過半数が独立社外取締役で構成される「指名・報酬諮問委員会」へ諮問し、答申を受けております。

また、取締役会は、当事業年度に係る取締役別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が当該決定方針と整合していることや、指名・報酬諮問委員会からの答申が尊重されていることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

取締役の個人別の報酬等にかかる決定方針は次のとおりです。

##### 1. 報酬の構成及び割合

確定額報酬として、月次の一定金額報酬、及び取締役会決議を経て制定された「役員退職金規程」に基づき退職後一定期間後に支給される退職慰労金により構成する。

##### 2. 一定金額報酬の個人別の報酬等の額の決定に関する方針

過去の支給実績、各取締役の職位・職務の内容及び会社の業績並びに他社の支給水準等を総合的に勘案したうえで、決定する。

##### 3. 退職慰労金の個人別の報酬等の額の決定に関する方針

役員退職金規程に基づいて、決定する。

##### 4. 取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する事項

取締役の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針の決定は、株主総会の承認を受けた取締役会が、その承認の範囲で行う。

取締役会における取締役の報酬等の額又はその算定方法の決定にあたっては、指名・報酬諮問委員会に対して諮問し、同委員会による審議答申を経たうえで行うものとする。

ロ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                        | 報 酬 等<br>の 総 額<br>(百万円) | 報酬等の種類別の額 (百万円) |            |          | 対象となる<br>役員の員数<br>(名) |
|----------------------------|-------------------------|-----------------|------------|----------|-----------------------|
|                            |                         | 固定報酬            | 業績連動<br>報酬 | 退職慰労金    |                       |
| 取締役（監査等委員を除く）<br>（うち社外取締役） | 160<br>(-)              | 152<br>(-)      | -          | 8<br>(-) | 6<br>(-)              |
| 取締役（監査等委員）<br>（うち社外取締役）    | 31<br>(16)              | 30<br>(16)      | -          | 0<br>(-) | 6<br>(5)              |
| 合 計<br>（うち社外取締役）           | 192<br>(16)             | 182<br>(16)     | -          | 9<br>(-) | 12<br>(5)             |

- (注) 1. 上表には、2023年9月28日開催の第9回定時株主総会終結の時をもって退任した取締役（監査等委員）（社外取締役）1名を含んでおります。
2. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
3. 取締役（監査等委員を除く）の報酬限度額は、2017年9月27日開催の第3回定時株主総会において、年額400百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役（監査等委員を除く）の員数は5名（うち社外取締役は0名）であります。
4. 取締役（監査等委員）の報酬限度額は、2017年9月27日開催の第3回定時株主総会において、年額100百万円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役（監査等委員）の員数は3名（うち社外取締役は2名）であります。
5. 退職慰労金は、当事業年度における役員退職慰労引当金繰入額であります。
6. 当事業年度において、社外取締役が当社の親会社等又は親会社等の子会社等（当社を除く）から受けた役員報酬等はありません。

④ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

1. 取締役（監査等委員）矢野千秋氏は、矢野山岸法律事務所代表及び東京交通サービス株式会社の社外取締役であります。当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。
2. 取締役（監査等委員）木下洋氏は、ティアンドエスグループ株式会社の取締役執行役員COOであります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
3. 取締役（監査等委員）林恭子氏は、学校法人グロービス経営大学院教授、株式会社グロービスファカルティ本部シニア・ファカルティディレクター、株式会社イートアンドホールディングス社外取締役

及び萩原電気ホールディングス株式会社の社外取締役であります。  
当社と各兼職先との間には特別の関係はありません。

□. 当事業年度における主な活動状況

|                     | 出席状況、発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(監査等委員) 矢野千秋 | <p>当事業年度に開催された取締役会14回の全てに、また、監査等委員会13回の全てに出席いたしました。弁護士としての専門的な知識や見識を活かし、経営陣から独立した立場から、主に法務リスクに関わる事項に関して助言・監督いただくことにより、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしていただくことを期待しておりましたところ、取締役会やその他の社内重要会議において、当該専門的な立場から積極的な発言をいただくなど、適切な役割を果たしております。監査等委員会では、当社の法務リスク等について適宜、必要な発言を行っております。また指名・報酬諮問委員会の委員長として、役員候補者の指名並びに取締役の報酬などについて、独立した客観的な立場で関与しております。</p> |
| 取締役<br>(監査等委員) 平尾禎孝 | <p>当事業年度に開催された取締役会14回の全てに、また、監査等委員会13回の全てに出席いたしました。医薬品ビジネスに関する企業での経営経験を活かし、経営全般に関して助言・監督いただくことにより、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしていただくことを期待しておりましたところ、取締役会やその他の社内重要会議において、当該専門的な立場から積極的な発言をいただくなど、適切な役割を果たしております。監査等委員会では、当社の経営全般について適宜、必要な発言を行っております。また指名・報酬諮問委員会の委員として、役員候補者の指名並びに取締役の報酬などについて、独立した客観的な立場で関与しております。</p>                        |

|                     | 出席状況、発言状況及び社外取締役期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役<br>(監査等委員) 木下 洋 | <p>当事業年度に開催された取締役会14回の全てに、また、監査等委員会13回の全てに出席いたしました。公認会計士としての専門的な知識や見識を活かし、経営陣から独立した立場から、経営の透明性と客観性向上に関して助言・監督いただくことにより、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしていただくことを期待しておりましたところ、取締役会やその他の社内重要会議において、当該専門的な立場から積極的な発言をいただくなど、適切な役割を果たしております。監査等委員会では、当社の内部統制等について適宜、必要な発言を行っております。また指名・報酬諮問委員会の委員として、役員候補者の指名並びに取締役の報酬などについて、独立した客観的な立場で関与しております。</p> |
| 取締役<br>(監査等委員) 林 恭子 | <p>2023年9月28日就任以降、当事業年度に開催された取締役会10回のうち9回に、また、監査等委員会10回のうち9回に出席いたしました。ダイバーシティ、働き方改革、DX推進、危機管理・防災などに関する豊かな経験を活かし、経営陣から独立した立場から、経営全般に関して助言・監督いただくことにより、取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしていただくことを期待しておりましたところ、取締役会やその他の社内重要会議において、当該専門的な立場から積極的な発言をいただくなど、適切な役割を果たしております。また、監査等委員会では、当社の経営全般について適宜、必要な発言を行っております。</p>                                |

(注) 取締役（監査等委員）林恭子氏は、2023年9月28日開催の第9回定時株主総会において選任されたため、取締役会及び監査等委員会の開催回数が他の取締役と異なります。なお、取締役（監査等委員）就任以降の取締役会の開催回数は10回、監査等委員会の開催回数は10回であります。

#### (4) 会計監査人の状況

① 名称 東陽監査法人

#### ② 報酬等の額

|                                     | 報酬等の額    |
|-------------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 39,000千円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 41,200   |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

#### ③ 非監査業務の内容

当社は、会計監査人に対して、「監査人から引受事務幹事会社への書簡」作成業務についての対価を支払っております。

#### ④ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査等委員会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査等委員全員の同意に基づき会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

### 3. 会社の支配に関する基本方針

当社は、現在のところ、会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めておりませんが、基本的な考えは以下のとおりであります。

当社は、経営資源の最適配分を通じて、競争力、収益力を高めることで安定的な成長を目指し、企業価値のさらなる向上を図ることが、株主の皆様からの負託に応えることになるものと考えております。従いまして、現時点で買収への対応方針は導入しておりません。

しかしながら、当社の株券等に関し、当社の企業価値又は株主共同の利益を毀損するような濫用的な買付等が行われる場合は、株主・投資家の皆様から経営を負託された者の責務として、企業価値及び株主共同の利益を確保し、向上させるという観点から最も適切と考えられる措置を取ることを検討いたします。

### 4. 剰余金の配当等の決定に関する方針

剰余金の配当等に関しましては、当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけており、将来にわたる企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保の充実を勘案しつつ、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。また配当につきましては、年1回期末配当にて剰余金の配当を行うことを基本方針としております。今後も成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値・株主価値の向上に努めてまいります。

これらの方針に基づき、当事業年度の期末配当金につきましては、本定時株主総会において承認可決されることを条件に1株につき13円の配当を実施することを決定しております。

(ご参考)

当社は、2024年8月9日の取締役会において、配当方針の変更を決議いたしました。変更後の配当方針は、2025年6月期より適用いたします。

|     |                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 変更前 | 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、将来にわたる企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保の充実を勘案しつつ、 <u>安定した配当政策を実施</u> することを基本方針とする。また配当については、年1回期末配当にて剰余金の配当を行う。 |
| 変更後 | 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、将来にわたる企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保の充実を勘案しつつ、 <u>原則として、毎年増配</u> することを基本方針とする。また配当については、年1回期末配当にて剰余金の配当を行う。  |

## 連結貸借対照表

(2024年6月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目               | 金 額               |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>     |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>24,775,196</b> | <b>流動負債</b>       | <b>4,976,949</b>  |
| 現金及び預金          | 13,954,886        | 支払手形及び買掛金         | 1,486,785         |
| 受取手形            | 118,293           | 電子記録債務            | 718,626           |
| 売掛金             | 3,682,650         | 短期借入金             | 860,000           |
| 電子記録債権          | 4,603,600         | 1年内返済予定の<br>長期借入金 | 373,904           |
| 商品及び製品          | 1,151,024         | 未払法人税等            | 731,912           |
| 仕掛品             | 534,249           | 賞与引当金             | 46,676            |
| 原材料及び貯蔵品        | 580,985           | その他               | 759,044           |
| その他             | 149,505           | <b>固定負債</b>       | <b>1,975,392</b>  |
| <b>固定資産</b>     | <b>7,228,819</b>  | 長期借入金             | 1,591,384         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>6,835,831</b>  | 繰延税金負債            | 1,129             |
| 建物及び構築物         | 3,106,939         | 役員退職慰労引当金         | 151,137           |
| 機械装置及び運搬具       | 1,181,592         | 退職給付に係る負債         | 152,557           |
| 工具、器具及び備品       | 307,641           | その他               | 79,183            |
| 土地              | 1,761,774         | <b>負債合計</b>       | <b>6,952,341</b>  |
| 建設仮勘定           | 477,884           | <b>(純資産の部)</b>    |                   |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>11,951</b>     | <b>株主資本</b>       | <b>25,003,652</b> |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>381,036</b>    | 資本金               | 1,338,752         |
| 投資有価証券          | 101,074           | 資本剰余金             | 1,022,303         |
| 繰延税金資産          | 244,189           | 利益剰余金             | 22,643,004        |
| 退職給付に係る資産       | 23,168            | 自己株式              | △407              |
| その他             | 12,603            | その他の包括利益累計額       | 48,022            |
| <b>資産合計</b>     | <b>32,004,016</b> | その他有価証券評価差額金      | 41,470            |
|                 |                   | 繰延ヘッジ損益           | 6,552             |
|                 |                   | <b>純資産合計</b>      | <b>25,051,674</b> |
|                 |                   | <b>負債純資産合計</b>    | <b>32,004,016</b> |

## 連結損益計算書

( 2023年 7月 1日から )  
( 2024年 6月30日まで )

(単位：千円)

| 科 目                           | 金         | 額          |
|-------------------------------|-----------|------------|
| 売 上 高                         |           | 22,134,145 |
| 売 上 原 価                       |           | 15,494,543 |
| 売 上 総 利 益                     |           | 6,639,601  |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |           | 2,257,287  |
| 営 業 利 益                       |           | 4,382,313  |
| 営 業 外 収 益                     |           |            |
| 受 取 利 息 及 び 配 当 金             | 2,089     |            |
| 受 取 手 数 料                     | 17,206    |            |
| 受 取 保 険 金                     | 26,533    |            |
| 受 取 補 償 金                     | 1,017     |            |
| 補 助 金 収 入                     | 25,502    |            |
| そ の 他                         | 7,187     | 79,536     |
| 営 業 外 費 用                     |           |            |
| 支 払 利 息                       | 7,533     |            |
| 株 式 交 付 費                     | 15,144    |            |
| 為 替 差 損                       | 55,185    |            |
| 支 払 手 数 料                     | 15,000    |            |
| そ の 他                         | 930       | 93,793     |
| 経 常 利 益                       |           | 4,368,056  |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |           | 4,368,056  |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税       | 1,453,128 |            |
| 法 人 税 等 調 整 額                 | △31,409   | 1,421,718  |
| 当 期 純 利 益                     |           | 2,946,337  |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |           | 2,946,337  |

## 貸借対照表

(2024年6月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目            | 金 額               |
|-----------------|-------------------|----------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>  |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>3,677,324</b>  | <b>流動負債</b>    | <b>986,183</b>    |
| 現金及び預金          | 2,889,009         | 短期借入金          | 850,000           |
| 前払費用            | 7,761             | 未払金            | 30,367            |
| 未収入金            | 57,753            | 未払費用           | 58,310            |
| 関係会社短期貸付金       | 722,800           | 未払法人税等         | 19,893            |
|                 |                   | 前受金            | 150               |
| <b>固定資産</b>     | <b>9,544,243</b>  | 預り金            | 6,661             |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>5,889</b>      | リース債務          | 97                |
| 建物              | 3,422             | 賞与引当金          | 8,237             |
| 車両運搬具           | 607               | その他            | 12,465            |
| 工具、器具及び備品       | 454               | <b>固定負債</b>    | <b>146,325</b>    |
| リース資産           | 148               | リース債務          | 73                |
| 土地              | 1,256             | 退職給付引当金        | 11,825            |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>1,000</b>      | 役員退職慰労引当金      | 134,427           |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>9,537,354</b>  | <b>負債合計</b>    | <b>1,132,509</b>  |
| 関係会社株式          | 9,009,846         | <b>(純資産の部)</b> |                   |
| 関係会社長期貸付金       | 503,380           | <b>株主資本</b>    | <b>12,089,059</b> |
| 繰延税金資産          | 24,112            | 資本金            | 1,338,752         |
| その他             | 15                | 資本剰余金          | 9,687,369         |
| <b>資産合計</b>     | <b>13,221,568</b> | 資本準備金          | 6,674,631         |
|                 |                   | その他資本剰余金       | 3,012,737         |
|                 |                   | <b>利益剰余金</b>   | <b>1,063,345</b>  |
|                 |                   | その他利益剰余金       | 1,063,345         |
|                 |                   | 繰越利益剰余金        | 1,063,345         |
|                 |                   | <b>自己株式</b>    | <b>△407</b>       |
|                 |                   | <b>純資産合計</b>   | <b>12,089,059</b> |
|                 |                   | <b>負債純資産合計</b> | <b>13,221,568</b> |

# 損益計算書

( 2023年 7月 1日から )  
( 2024年 6月30日まで )

(単位：千円)

| 科 目          | 金      | 額         |
|--------------|--------|-----------|
| 営業収益         |        | 1,223,539 |
| 売上総利益        |        | 1,223,539 |
| 販売費及び一般管理費   |        | 580,315   |
| 営業利益         |        | 643,224   |
| 営業外収益        |        |           |
| 受取利息         | 3,108  |           |
| 受取地代家賃       | 600    |           |
| 生命保険配当金      | 668    |           |
| その他の         | 936    | 5,313     |
| 営業外費用        |        |           |
| 支払利息         | 2,526  |           |
| 株式交付費        | 15,144 |           |
| その他の         | 102    | 17,772    |
| 経常利益         |        | 630,764   |
| 税引前当期純利益     |        | 630,764   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,657 |           |
| 法人税等調整額      | △5,753 | 12,904    |
| 当期純利益        |        | 617,860   |

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2024年8月22日

コア商事ホールディングス株式会社

取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人

東京事務所

指 定 社 員 公認会計士 浅 山 英 夫  
業務執行社員

指 定 社 員 公認会計士 田 部 秀 穂  
業務執行社員

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、コア商事ホールディングス株式会社の2023年7月1日から2024年6月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、コア商事ホールディングス株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

・連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2024年8月22日

コア商事ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人  
東京事務所

|                   |       |         |
|-------------------|-------|---------|
| 指 定 社 員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 浅 山 英 夫 |
| 指 定 社 員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 田 部 秀 穂 |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、コア商事ホールディングス株式会社の2023年7月1日から2024年6月30日までの第10期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査等委員会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与える

と合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査等委員会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2023年7月1日から2024年6月30日までの第10期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び従業員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施いたしました。

- (1) 監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部監査部門と連携のうえ、重要な会議等に出席し意思決定の過程及び内容を確認し、取締役及び従業員等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等並びに重要な使用人等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- (2) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2)計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人東陽監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3)連結計算書類の監査結果

会計監査人東陽監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年8月23日

コア商事ホールディングス株式会社 監査等委員会

常勤監査等委員 定 延 紳 朗 ㊞

監査等委員 矢 野 千 秋 ㊞

監査等委員 平 尾 禎 孝 ㊞

監査等委員 木 下 洋 ㊞

監査等委員 林 恭 子 ㊞

(注) 監査等委員矢野千秋、平尾禎孝、木下洋、及び林恭子は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

## 株主総会参考書類

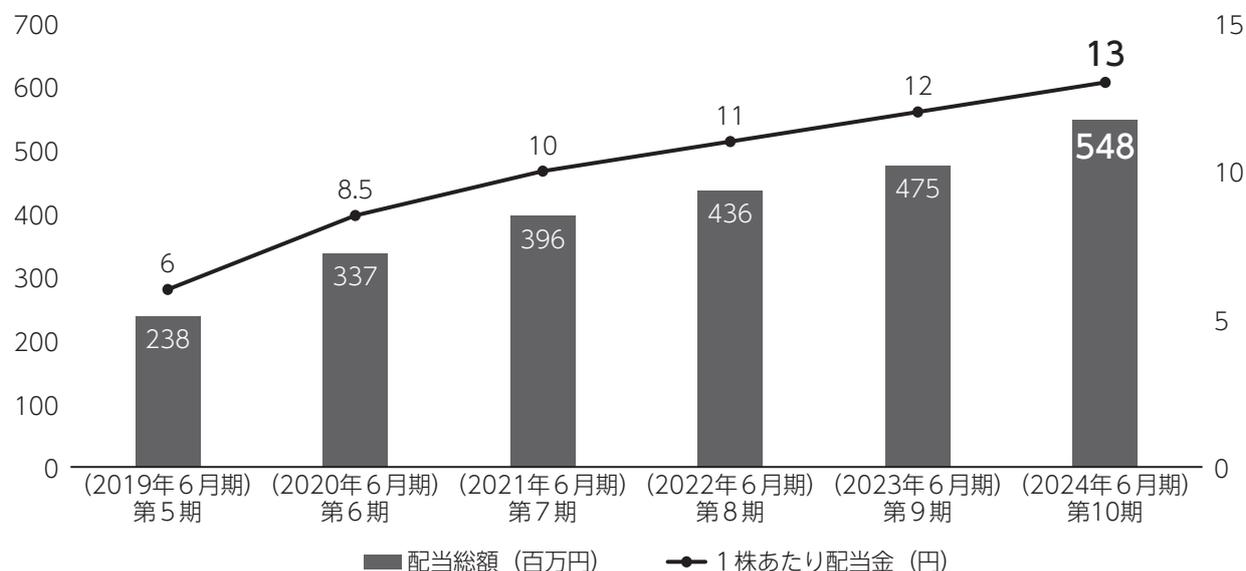
### 第1号議案 剰余金処分の件

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としておりますが、今期業績並びに今後の事業展開等を勘案して、以下のとおり第10期の期末配当をいたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

- ① 配当財産の種類  
金銭といたします。
- ② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金13円といたしたいと存じます。  
なお、この場合の配当総額は547,542,112円となります。
- ③ 剰余金の配当が効力を生じる日  
2024年9月30日といたしたいと存じます。

#### (ご参考) 1株あたり配当金/配当総額の推移



(注) 上表はこれまで実施した株式分割の影響を考慮して算出しております。

## 第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。以下本議案において同じ。）全員（6名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役6名の選任をお願いするものであります。

当社では、取締役の指名・報酬等に関する手続きの公正性・透明性・客観性を高め、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることを目的に、過半数が独立社外取締役で構成される任意の指名・報酬諮問委員会を設置しており、取締役候補者の選定にあたって、同委員会における審議・答申を経て決定しております。

なお、本議案について、当社の監査等委員会は、すべての取締役候補者が適任であると判断しております。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(性別)                 | 当社における現在の地位及び担当                                                                     | 取締役会出席状況          | 在任年数 |
|-------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------|
| 1     | しゅとう としゆき<br>首藤 利幸<br>(男性) | 代表取締役社長 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再 任</span>             | 14/14回<br>(100%)  | 9年   |
| 2     | こやま としのり<br>小山 登志憲<br>(男性) | 専務取締役<br>営業担当 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再 任</span>       | 13/14回<br>(92.8%) | 9年   |
| 3     | おおつか りつこ<br>大塚 里津子<br>(女性) | 常務取締役<br>サステナビリティ担当 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再 任</span> | 13/14回<br>(92.8%) | 9年   |
| 4     | ひろの としひろ<br>廣野 敏博<br>(男性)  | 取締役<br>生産担当 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再 任</span>         | 14/14回<br>(100%)  | 9年   |
| 5     | こまつ みよこ<br>小松 美代子<br>(女性)  | 取締役<br>財務経理担当 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再 任</span>       | 14/14回<br>(100%)  | 8年   |
| 6     | たなか てるゆき<br>田中 輝幸<br>(男性)  | 取締役<br>事業開発・経営企画担当 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再 任</span>  | 14/14回<br>(100%)  | 6年   |

(注) 在任年数は、本株主総会終結時の年数で、1年未満を切り捨てて記載しております。

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                             | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1         | しゅ とぅ とし ゆき<br>首藤利幸<br>(1947年3月1日)<br>再任<br>【性別】<br>男性<br>【取締役会出席状況】<br>14/14回(100%)<br>【在任期間】<br>9年 | 1972年1月 日本モンテジソン株式会社入社<br>1975年3月 日本ザンボン株式会社移籍<br>1991年2月 コーア商事株式会社設立<br>同社取締役<br>1994年8月 同社代表取締役副社長<br>1995年8月 同社代表取締役社長<br>2011年7月 株式会社イセイ取締役(現: コーアイセイ株式会社)<br>2013年8月 コーア商事株式会社代表取締役会長<br>2015年1月 当社代表取締役社長(現任)<br>2015年8月 コーアバイオテックベイ株式会社代表取締役会長<br>2016年9月 コーアイセイ株式会社代表取締役会長兼社長<br>2016年9月 コーア製薬株式会社代表取締役会長(現: コーアバイオテックベイ株式会社)<br>2018年9月 コーア商事株式会社代表取締役会長兼社長<br>2018年9月 コーアイセイ株式会社代表取締役会長(現任)<br>2018年9月 コーアバイオテックベイ株式会社代表取締役会長兼社長<br>2019年9月 コーアバイオテックベイ株式会社代表取締役会長<br>2020年9月 コーア製薬株式会社代表取締役会長兼社長(現: コーアバイオテックベイ株式会社)<br>2021年9月 コーア商事株式会社代表取締役会長(現任)<br>2021年9月 コーア製薬株式会社代表取締役会長(現: コーアバイオテックベイ株式会社)<br>2021年10月 一般社団法人首藤奨学財団設立(現: 公益財団法人首藤奨学財団)<br>同法人代表理事(現任)<br>2022年9月 コーアバイオテックベイ株式会社相談役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>コーア商事株式会社代表取締役会長<br>コーアイセイ株式会社代表取締役会長<br>コーアバイオテックベイ株式会社相談役<br>公益財団法人首藤奨学財団代表理事<br>(取締役候補者とした理由)<br>首藤利幸氏は、当社の創業者であり、当社グループの企業価値の持続的向上を牽引する者として、その実績、能力、経験が引き続き当社の経営に欠かせないものと判断し、取締役候補者といたしました。<br>(所有する当社の株式数)<br>2,136,160株 |

| 候補者<br>番号                                                                                                      | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                    | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2                                                                                                              | こ やま とし の り<br>小 山 登志憲<br>(1948年12月11日)<br><b>再任</b><br><br><b>【性別】</b><br>男性<br><b>【取締役会出席状況】</b><br>13/14回 (92.8%)<br><b>【在任期間】</b><br>9年 | 1973年4月 株式会社ファームイタリア入社<br>1976年6月 つるかめ薬局設立<br>1979年6月 株式会社イトーヨーカ堂入社<br>2004年10月 株式会社アイロムスタッフ代表取締役会長<br>2010年10月 株式会社アイロム代表取締役社長<br>2011年6月 株式会社アイロムホールディングス代表取締<br>役会長 (現：株式会社アイロムグループ)<br>2012年11月 株式会社ウィーズホールディングス入社<br>2014年7月 コーア商事株式会社入社<br>同社顧問<br>2015年1月 当社取締役<br>2015年3月 コーア製薬株式会社取締役 (現：コアバイ<br>オテックベイ株式会社)<br>2016年9月 コーアイセイ株式会社取締役 (現任)<br>2016年9月 当社専務取締役<br>2018年9月 コーア商事株式会社取締役 (現任)<br>2018年9月 当社専務取締役営業部門担当 (現：営業担<br>当) (現任) |
| (取締役候補者とした理由)                                                                                                  |                                                                                                                                             | (重要な兼職の状況)<br>コーア商事株式会社取締役<br>コーアイセイ株式会社取締役                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 小山登志憲氏は、医薬品業界全般に精通しており、専務取締役営業担当として当社グループの成長への営業戦略策定力と実行力を有する者として、その実績と能力が引き続き当社の経営に欠かせないものと判断し、取締役候補者といたしました。 |                                                                                                                                             | (所有する当社の株式数)<br>10,000株                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

| 候補者<br>番号                                                                                                                 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                         | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3                                                                                                                         | おお つか りつこ<br>大 塚 里津子<br>(1978年2月1日)<br><b>再 任</b><br><br><b>【性別】</b><br>女性<br><br><b>【取締役会出席状況】</b><br>13/14回 (92.8%)<br><br><b>【在任期間】</b><br>9年 | 2008年4月 コーア商事株式会社入社<br>2015年1月 当社取締役学術部門担当<br>2015年8月 コーア商事株式会社取締役<br>2016年9月 コーアバイオテックベイ株式会社取締役<br>2018年9月 コーアイセイ株式会社取締役(現任)<br>2019年9月 コーアバイオテックベイ株式会社代表取締役<br>社長<br>2020年9月 当社常務取締役品質担当<br>2021年9月 コーア商事株式会社代表取締役社長 (現任)<br>2021年9月 当社常務取締役サステナビリティ担当 (現<br>任)<br>2022年9月 コーアバイオテックベイ株式会社代表取締役<br>会長 (現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>コーア商事株式会社代表取締役社長<br>コーアバイオテックベイ株式会社代表取締役会長<br>コーアイセイ株式会社取締役 |
| (取締役候補者とした理由)<br>大塚里津子氏は、ジェネリック医薬品事業に精通しており、これまでの取締役品質<br>担当、サステナビリティ担当としての経験と見識が引き続き当社の経営に欠かせな<br>いものと判断し、取締役候補者といたしました。 |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| (所有する当社の株式数)<br>487,320株                                                                                                  |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                                                               | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4         | <p>ひろ の とし ひろ<br/>廣 野 敏 博<br/>(1949年11月11日)</p> <p>再 任</p> <p>【性別】<br/>男性</p> <p>【取締役会出席状況】<br/>14/14回 (100%)</p> <p>【在任期間】<br/>9年</p> | <p>1973年 8 月 小林製薬工業株式会社入社（現：ネオクリティケア製薬株式会社）</p> <p>2002年 6 月 同社取締役</p> <p>2007年10月 同社常務取締役</p> <p>2008年 4 月 同社取締役副社長</p> <p>2014年11月 コーア商事株式会社入社<br/>同社顧問</p> <p>2015年 1 月 当社取締役製造技術部門担当（現：生産担当）（現任）</p> <p>2016年 5 月 コーアイセイ株式会社取締役副社長</p> <p>2018年 9 月 コーアバイオテックベイ株式会社取締役（現任）</p> <p>2018年 9 月 コーアイセイ株式会社代表取締役社長（現任）</p> <p>(重要な兼職の状況)<br/>コーアイセイ株式会社代表取締役社長<br/>コーアバイオテックベイ株式会社取締役</p> <p>(取締役候補者とした理由)<br/>廣野敏博氏は、ジェネリック医薬品事業に精通しており、取締役生産担当として当社グループの医薬品製造販売事業の推進と実行力を有する者として、その実績と能力が引き続き当社の経営に欠かせないものと判断し、取締役候補者といたしました。</p> <p>(所有する当社の株式数)<br/>10,000株</p> |

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                                                            | 略 歴 、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5         | <p>こ まつ みよこ<br/>小 松 美代子<br/>(1964年5月14日)</p> <p>再 任</p> <p>【性別】<br/>女性</p> <p>【取締役会出席状況】<br/>14/14回 (100%)</p> <p>【在任期間】<br/>8年</p> | <p>1996年9月 石井税務会計事務所入所</p> <p>2000年5月 児山公認会計士事務所入所</p> <p>2005年4月 株式会社パソナ入社</p> <p>2006年12月 コーア商事株式会社入社</p> <p>2015年7月 当社転籍財務担当部長</p> <p>2016年1月 当社財務経理部長</p> <p>2016年9月 コーアバイオテックベイ株式会社監査役 (現任)</p> <p>2016年9月 当社取締役財務担当財務経理部長</p> <p>2018年9月 当社取締役財務経理・総務部門担当財務経理部長</p> <p>2020年12月 当社取締役財務経理・総務担当</p> <p>2021年9月 当社取締役財務経理担当 (現任)</p> <p>(重要な兼職の状況)<br/>コーアバイオテックベイ株式会社監査役</p> <p>(取締役候補者とした理由)<br/>小松美代子氏は、当社における財務及び会計業務を長年にわたり担当し、取締役財務経理担当としてその経験と見識が引き続き当社グループの経営に欠かせないものと判断し、取締役候補者といたしました。</p> <p>(所有する当社の株式数)<br/>264,120株</p> |

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                                | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6         | た なか てる ゆき<br>田 中 輝 幸<br>(1950年1月3日)<br>再任<br>【性別】<br>男性<br>【取締役会出席状況】<br>14/14回 (100%)<br>【在任期間】<br>6年 | 1972年4月 日本化薬株式会社入社<br>1997年8月 同社営業本部業務部長<br>2002年6月 同社医薬事業本部GE戦略部長<br>2011年9月 株式会社大石膏盛堂入社<br>同社執行役員営業本部長<br>2017年7月 当社入社<br>経営企画室長<br>2017年9月 コーア商事株式会社取締役副社長 (現任)<br>2018年9月 当社取締役経営企画担当経営企画室長<br>2019年7月 当社取締役事業開発部門担当<br>(現：事業開発・経営企画担当) (現任) |
|           |                                                                                                         | (重要な兼職の状況)<br>コーア商事株式会社取締役副社長                                                                                                                                                                                                                    |
|           |                                                                                                         | (取締役候補者とした理由)<br>田中輝幸氏は、ジェネリック医薬品事業に精通しており、取締役事業開発・経営企画担当として当社グループの成長への事業開発に関する実行力を有する者として、その実績と能力が引き続き当社の経営に欠かせないものと判断し、取締役候補者といたしました。                                                                                                          |
|           |                                                                                                         | (所有する当社の株式数)<br>-                                                                                                                                                                                                                                |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別な利害関係はありません。
2. 候補者首藤利幸氏は、会社法第2条第4号の2に定める親会社等であります。
3. 候補者大塚里津子氏は、当社代表取締役社長首藤利幸の子であります。
4. 当社は、保険会社との間で当社及びグループ各社の取締役・監査役・管理職を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結し、被保険者の業務に起因して、株主・会社・その他第三者から損害賠償請求がなされた場合の当該損害賠償金、訴訟費用等を当該保険契約により填補することとしております。各候補者の選任が承認された場合は、当該保険契約の被保険者に含まれることとなり、次回更新時には同内容での更新を予定しております。

### 第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件

監査等委員である取締役木下洋氏は本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査等委員である取締役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。  
監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

| ふ り が な<br>氏 名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| きの した ひろし<br>木 下 洋<br>(1968年4月18日)<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再 任</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社 外</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">独 立</div><br><br>【性別】<br>男性<br><br>【取締役会出席状況】<br>14/14回 (100%)<br><br>【在任期間】<br>2年 | 1992年10月 監査法人朝日新和会計社入社（現：有限責任 あずさ監査法人）<br>1996年4月 公認会計士登録<br>2008年5月 あずさ監査法人パートナー（現：有限責任 あずさ監査法人）<br>2019年12月 木下洋公認会計士事務所設立<br>2020年3月 ティアンドエス株式会社取締役執行役員業務本部長（現：ティアンドエスグループ株式会社）<br>2022年9月 当社社外取締役（監査等委員）（現任）<br>2023年12月 ティアンドエス株式会社取締役執行役員コーポレート本部長（現：ティアンドエスグループ株式会社）<br>2024年6月 ティアンドエスグループ株式会社取締役執行役員COO（現任）<br><br>（重要な兼職の状況）<br>公認会計士<br>ティアンドエスグループ株式会社取締役執行役員COO |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | （監査等委員である社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要）<br>木下洋氏は、公認会計士としての豊富な経験と財務・会計全般に関する専門的な見識を有しており、その経験・見識を活かし、経営陣から独立した客観的な立場から、経営の透明性と客観性向上に関して助言や監督いただくことを期待し、監査等委員である社外取締役候補者とした。また、同氏が選任された場合には、引き続き指名・報酬諮問委員として、取締役候補者の選定や役員報酬の決定に対し、独立した客観的な立場で関与いただく予定です。                                                                                                                          |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | （所有する当社の株式数）<br>400株                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

- (注) 1. 候補者と当社との間には、特別な利害関係はありません。  
 2. 木下洋氏は、監査等委員である社外取締役候補者であります。  
 3. 木下洋氏は、現在、当社の監査等委員である社外取締役であります。在任期間は、本総会終結の時をもって2年となります。

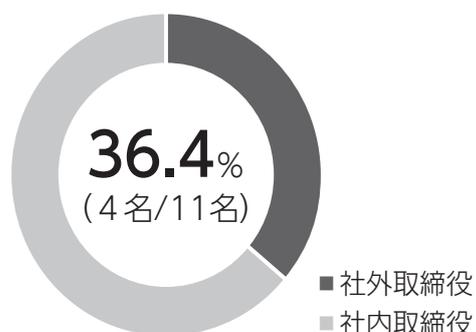
4. 当社は、保険会社との間で当社及びグループ各社の取締役・監査役・管理職を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結し、被保険者の業務に起因して、株主・会社・その他第三者から損害賠償請求がなされた場合の当該損害賠償金、訴訟費用等を当該保険契約により填補することとしております。木下洋氏の再任が承認された場合、引き続き当該保険契約の被保険者となり、次回更新時には同内容での更新を予定しております。
5. 当社は、木下洋氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ており、同氏の再任が承認された場合には、引き続き独立役員として届け出る予定であります。なお、同氏は、2022年9月27日まで当社の会計監査人であった有限責任 あずさ監査法人のパートナーでしたが、2019年11月に同法人を退任し、約4年が経過しており、独立性に関して懸念はないものと判断しております。

■ご参考 第2号議案及び第3号議案承認可決後の取締役会の体制（予定）

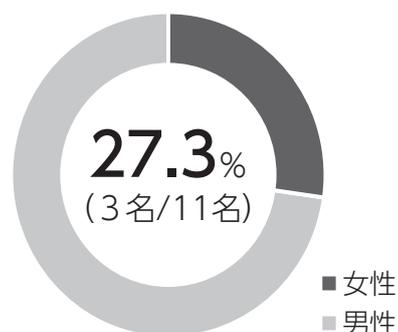
本総会の第2号議案及び第3号議案が原案どおり承認可決された場合における、本総会後の取締役会の体制は次のとおりとなる予定です。

| 氏名                     | 性別 | 当社における地位     | 取締役会      | 指名・報酬<br>諮問委員会 |
|------------------------|----|--------------|-----------|----------------|
| しゅとう としゆき<br>首藤 利幸 77歳 | 男性 | 代表取締役社長      | ●<br>(議長) |                |
| おおつか りつこ<br>大塚 里津子 46歳 | 女性 | 取締役副社長       | ●         |                |
| こやま としのり<br>小山 登志憲 75歳 | 男性 | 専務取締役        | ●         | ●              |
| ひろの としひろ<br>廣野 敏博 74歳  | 男性 | 常務取締役        | ●         |                |
| こまつ みよこ<br>小松 美代子 60歳  | 女性 | 取締役          | ●         | ●              |
| たなか てるゆき<br>田中 輝幸 74歳  | 男性 | 取締役          | ●         |                |
| さだのぶ しんろう<br>定延 紳朗 72歳 | 男性 | 取締役<br>監査等委員 | ●         |                |
| やの ちあき<br>矢野 千秋 77歳    | 男性 | 取締役<br>監査等委員 | ●         | ●<br>(委員長)     |
| ひらお よしたか<br>平尾 禎孝 70歳  | 男性 | 取締役<br>監査等委員 | ●         | ●              |
| きのした ひろし<br>木下 洋 56歳   | 男性 | 取締役<br>監査等委員 | ●         | ●              |
| はやし きょうこ<br>林 恭子 57歳   | 女性 | 取締役<br>監査等委員 | ●         |                |

社外取締役比率



女性取締役比率



■ご参考 取締役特に期待する分野（スキルマトリックス）

本総会の第2号議案及び第3号議案が原案どおり承認可決された場合における、本総会後の取締役に特に期待する分野は以下のとおりとなります。

| 氏名            |        | 特に期待する分野 |               |          |    |           |              |
|---------------|--------|----------|---------------|----------|----|-----------|--------------|
|               |        | 企業<br>経営 | 営業<br>マーケティング | 財務<br>会計 | 法務 | 業界の<br>知見 | サステ<br>ナビリティ |
| 取締<br>役       | 首藤 利幸  | ●        | ●             |          |    | ●         |              |
|               | 小山 登志憲 | ●        | ●             |          |    | ●         |              |
|               | 大塚 里津子 | ●        |               |          |    | ●         | ●            |
|               | 廣野 敏博  | ●        |               |          |    | ●         |              |
|               | 小松 美代子 |          |               | ●        |    |           | ●            |
|               | 田中 輝幸  | ●        | ●             |          |    | ●         |              |
| 監査<br>等<br>委員 | 定延 紳朗  |          |               |          | ●  | ●         |              |
|               | 矢野 千秋  |          |               |          | ●  |           |              |
|               | 平尾 禎孝  | ●        | ●             |          |    | ●         | ●            |
|               | 木下 洋   | ●        |               | ●        |    |           |              |
|               | 林 恭子   | ●        |               |          |    |           | ●            |

#### 第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

法令に定める監査等委員である取締役の員数を欠くことになる場合に備え、補欠の監査等委員である取締役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。  
補欠の監査等委員である取締役の候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                                                                                                                                                                                                                                              | 略歴、当社における地位及び担当                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| やまぎし ゆうき<br>山岸 勇紀<br>(1979年6月2日)<br>社外<br>独立<br>【性別】<br>男性<br>【取締役会出席状況】<br>-<br>【在任期間】<br>-                                                                                                                                                              | 2013年2月 弁護士登録（第二東京弁護士会所属）<br>2013年2月 矢野総合法律事務所入所（現：矢野山岸法律事務所）<br>2017年4月 公益財団法人日弁連法務研究財団事務局員<br>2021年4月 矢野山岸法律事務所パートナー（現任）<br>2024年4月 公益財団法人日弁連法務研究財団認証評価事業部事務局長（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>弁護士（矢野山岸法律事務所パートナー）<br>公益財団法人日弁連法務研究財団認証評価事業部事務局長 |
| （補欠の監査等委員である社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要）<br>山岸勇紀氏は、弁護士としての豊富な経験と法務全般に関する専門的な見識を有しており、その経験・見識を活かし、経営陣から独立した客観的な立場から、主に法務リスクに関わる事項に関して助言や監督いただくことを期待し、補欠の監査等委員である社外取締役候補者といたしました。<br>なお、同氏は会社経営に関与した経験はありませんが、上記理由により監査等委員である社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。 |                                                                                                                                                                                                                                         |
| （所有する当社の株式数）<br>-                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                         |

- (注) 1. 候補者と当社との間には、特別な利害関係はありません。
2. 山岸勇紀氏は、補欠の監査等委員である社外取締役候補者であります。
3. 当社は、保険会社との間で当社及びグループ各社の取締役・監査役・管理職を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結し、被保険者の業務に起因して、株主・会社・その他第三者から損害賠償請求がなされた場合の当該損害賠償金、訴訟費用等を当該保険契約により填補することとしております。山岸勇紀氏が就任した場合、当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。
4. 山岸勇紀氏につきましては、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が監査等委員である社外取締役に就任された場合には、独立役員として届け出る予定です。

以上

# 株主総会会場ご案内図

会場

ホテルニューグランド 本館2階 「レインボーボールルーム」  
神奈川県横浜市中区山下町10番地

交通

電車 | みなとみらい線「元町・中華街駅」1番出口より徒歩1分  
(地下ホームより1番出口まで7分ほどかかります。)



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。